

大学メール／kibaco のパスワードを忘れないために

「パスワード再設定用メールアドレス登録」を行きましょう。

パスワード再設定用アドレスを登録しておくことで、パスワードを忘れた場合、パスワードリマインド機能を使ってご自身でパスワードをリセットすることができます。再設定用メールアドレスは、ご自身の大学のメールアドレス以外のものを登録しておいてください。

→「東京都立大学 教育研究用情報システムの総合案内サイト」TMUNER から、利用者メニューにログインすることで行えます。

<http://www.comp.tmu.ac.jp/tmuner/riyoshamenu.html>

kibaco パスワードの有効期限を切らさないために

「電子メールの転送先設定」を行きましょう。

kibaco のパスワード有効期限はいきなり切れるのではなく、有効期限 2 週間前には大学メールにお知らせが来ています。大学メールを、普段使うメールアドレス宛てに転送設定をすることで、知らないうちに期限が切れることを防げます。

TMUNER の「ホーム／ログインメニュー」から Web メール（学生）にログインし、Web 版 Outlook の右上の歯車マークから設定を行います。

Outlook のすべての設定を表示 → 「転送」をクリック → 「転送を有効にする」にチェックし、転送先のアドレスを入力 → サーバーにメールを残して転送する場合は「転送されたメッセージのコピーを保持する」にチェック → 保存をクリック

詳しい設定方法は、TMUNER の「システム利用方法」 → 「メール利用方法」 → 「メール転送設定方法」のページの一番下、「設定方法の詳細はこちら」のリンク先にマニュアルがあります。

大学メールを使おう

kibaco のお知らせメールや学生ポータルからの配信メールは、大学メールあてにしか送信されません。上記の設定で大学メールを常に確認できるようにしておいてください。

また、学内関係者にメール連絡する場合、ed.tmu.ac.jp ドメインを使用するとそれだけで本学学生であることがわかるため、不信感を持たれにくいという利点があります。

大学メールのドメインに使われている ac.jp は高等教育機関に所属する人に付与されるもので、フリーメールに比べてある程度の信頼性を伴うものです。就職活動などでもフリーメールより大学メールを使用の方が望ましいとされています。ac.jp アカウントはだれでも持てるものではありませんので、大学メールが使えるうちに、大いに利用してください。